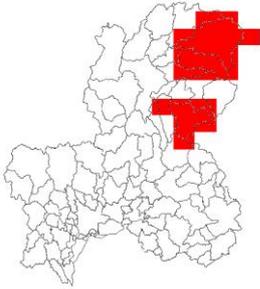


ミヤマウラボシ	<i>Phymatopsis veitchii</i> (Baker) H.Itô	絶滅危惧Ⅱ類
		ウラボシ科
選定理由	生育地が限定されるうえ、生育地の自然環境が厳しく、種の存続への圧迫に絶えずさらされていると判断される。愛好家による園芸採取も多い。	写真(荻山恒弘) 
形態の特徴	夏緑性のシダ。根茎は長く這い、葉身は単羽状深裂-全裂で羽片は3対前後。羽片の縁は浅く切れ込む。	
生態的特徴	亜高山帯の山地の岩上に生育する。	
分布状況	北海道・本州(近畿地方以北)・四国に分布する。岐阜県では県北東部に分布する。	
減少要因	治山工事、岩場の自然崩落などによる生育地の消失。登山者の増加による環境変化や、愛好家による採集圧も考えられる。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成